

とき たび とり さかい
— 時を旅する鳥が見たある日の土界 —



住吉祭礼図屏風
(すみよしさいれいずびょうぶ)

さく・・・モすしょうがっこう ほうかごルーム
ぶん・・・いまいまさこ
え・・・とついでいこ
でざいん・・・みせけいこ

とき たび とり さかい
『時を旅する鳥が見たある日の堺』は
住吉祭礼図屏風から生まれました

すみよしさいれいずびょうぶ

堺（さかい）しんぜんたいいで、きゃくほんかの今井雅子（いまいまさこ）さんを先生にむかえ、小学生むけの「ドラマティック堺（さかい）さがしワークショップ」をかいさいしました。

 ‘すみよしさいれいずびょうぶ’ をのぞいてみよう

「住吉祭礼図屏風（すみよしさいれいずびょうぶ）」にえがかれているのはどんな人だろうとそうそうし、ほんとうのれきしにおこったことでなく、ゆめのおはなしをかんがえることで、このびょうぶにかんしんをもってもらうことがもくてきです。

ワークショップは百舌鳥小学校（もずしょうがっこう）の子どもたちがさんか。7つのグループにわかれて「住吉祭礼図屏風（すみよしさいれいずびょうぶ）」からとうじょうじんぶつをえらび、それぞれのキャラクターをかんがえました。それをもとに今井雅子（いまいまさこ）さんが楽しいシナリオにしあげてくださいました。

そして・・・今井雅子（いまいまさこ）さんが そうさくした ものがたり「ときをたびするとりが見たある日の堺（さかい）」が できあがりしました。

お知らせ



なんびゃくねんもまえに えがかれた びょうぶは
大仙公園(だいせんこうえん)の「堺市博物館(さかいしはくぶつかん)」に、
とうじょうじんぶつは 宿院(しゅくいん)にある
「さかい利晶の杜(さかいりしょうのもり)」で であえます。
ぜひ、ごかぞくのみなさんと いっしょに 行って みてくださいね。



(さかいしはくぶつかん)
堺市博物館

JR 阪和線 (はんわせん)
「百舌鳥」駅 (もずえき)

南海 (なんかい) バス
「堺市博物館前」停留所 (さかいしはくぶつかんまえていりゅうじよ)

大仙公園内 (だいせんこうえんない)

阪堺線 (はんかいせん)
「宿院」停留場 (しゅくいんていりゅうじよ)

南海 (なんかい) バス
「宿院」停留所 (しゅくいんていりゅうじよ)

おりてすぐ

(さかいりしょうのもり)
さかい利晶の杜



『すみよしさんの さいれい』ってなあに？



住吉祭礼図屏風(すみよし さいれいず びょうぶ)

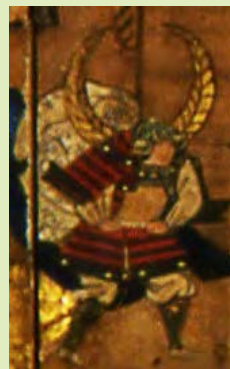
せんごくじだいから えどじだいのはじめ (約 400 年前)、つゆや なつには、でんせんびょうが ものすごく はやりました。すみよしのおまつりは、大阪 (おおさか) の町ぜんたいを きよめるための「お祓 (はら) いまつり」。住吉大社 (すみよしたいしゃ) から 堺 (さかい) の宿院御旅所 (しゅくいんおたびじょ) まで 神輿 (みこし) がわたり、堺 (さかい) の 町人たちによる 南蛮人 (なんばんじん) の 仮装 (かそう) や せんごくぶしょうの 母衣武者 (ほろむしゃ) などが にぎやかに パレードします。

ほろむしやさんにんしゅう
母衣武者三人衆



ぶしょうになりきった町の人たちが、どうぶつやちょうちよなどのかそいで、カブよさやあでやかさを見せつけます。むかしは、こうげきからみをまもるために、母衣（ほろ）がつかわれたそうです。みんなはどんなやくでとうじょうするのでしょうか。

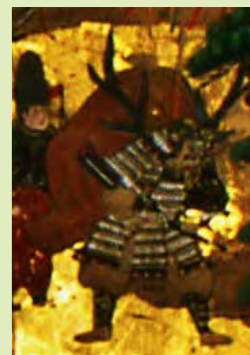
しけのしけお



つるつるお



ちよっぱー



さあ、〈すみよし さいれいず びょうぶ〉から
みんながえらんだ とうじょうじんぶつを さがしてみよう！

さむらい



ピリオド・マネー！
ドル・ユーロ！



きらびやかなきものでさんかするおさむらいさん。おはなしでは気のつよい女のせんしやくでとうじょうします。

町人

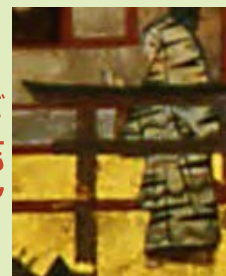


ひよわさけたらう



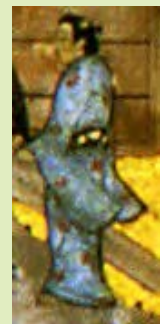
かみさまにおそなえするためのさかなをりょうりする人。おはなしではこわいおかあさんとくらす気よわなおとうさんやくです。

ごえもん



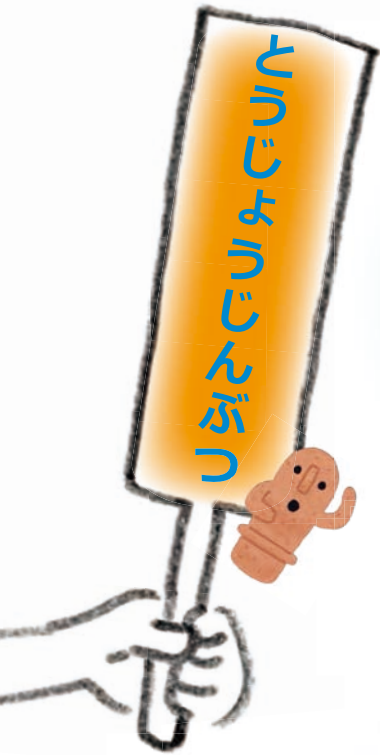
じんじゃでねっしんにおまいりをしている人。なにをねがっているのでしょうか。おはなしではおさけずきのおとうさんやくでとうじょうです。

おいく



さあ、ものがたいがはじまるよ





志家野志家男
しけのしけお



弦鶴男
つるつるお

かつこいよ

著津波亜
ちよっぱー



みんながつくったものがたり

おっ!

7人のとうじょうじんぶつがむかしの堺(さかい)をぼうけんするよ

日世輪酒太郎
ひよわさけたろう

ひゅうひゅう~



★
きらきら★



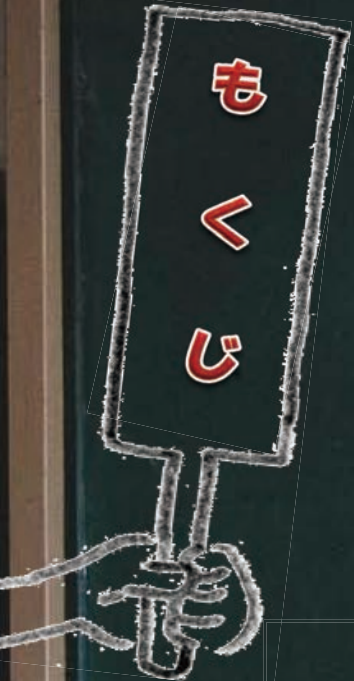
ピリオド・マネー・ドル・ユーロ

五右衛門
ごえもん



お育
おいく





P5

“しけのしけお” ものがたり
さく／ドルフィングループ

“志家野志家男（しけのしけお）”

25さい、どくしん。見た目がつよそ
うなので、このままでは けっこんでき
ないかもしれないとなやみ、あさから
ずっとナンパしていたとか。ゆめは、
おとのさまになることです。

P6

“つるつるお” ものがたり
さく／サルグループ

“弦鶴男（つるつるお）”

とびきり はでないしょうを きている こ
の男は170さい？ 129人かぞく？
しゅみは けんどう、すきな たべものは
うどん。あたまのなかは うどんをたべる
ことだけ。いろんな ばしょの 名ぶつう
どんを たべたいという ゆめがあります。

P7

“ちょっばー” ものがたり
さく／ミジンコグループ

“著津波亜（ちょっばー）”

30さい、どくしん。どうぶつの
ツノをかぶった男。ほっかいどう
から おきなわまで あるいて、堺
(さかい) にかえってきたばかり。
つかれきったので、おさけをのん
で まちを ブラブラしよう と かん
がえちゅう。ゆめは どうぶつに
なること？ すきな たべものは 人
げんっ?! とんでもなく キケン
な男の とうじょうです。

P8

“ピリオド・マネー・ドル・ユーロ”ものがたり
さく／ハヤブサグループ

“ピリオド・マネー・ドル・ユーロ”

45さい、子どもふたりの3人かぞく。たかそうなきものをきているお金もち。好きなたべものはサーロインステーキ。ダイエットしてイケメンとけっこうすることがゆめ。けさ、がいこくからの手がみをうけとりました。

P10

“ごえもん”ものがたり
さく／カピパラグループ

“五右衛門（ごえもん）”

30さい、つま、3人きょうだいの5人かぞく。なやみは子どもがあいてにしてくれないこと。子どもはなによりもおさけがすきなおとうさんがきらい。子どもにふりむいてもらいたいので、りっぱなおさむらいさんになりたいとねがうけれど、おさけがやめられません。

P9

“おいく”ものがたり
さく／レッサーパンダグループ

“お育（おいく）”

27さい、おっと、4人の子どもがいるおかあさん。しごとはぬのをおってきものをつくるデザイナー。むすめにどんなきものをきせようか いっしょうけんめい かんがえますが、なかなかよいデザインがおもいつきません。

P11

“ひよわさけたろう”ものがたり
さく／チョウザメグループ

“日世輪酒太郎（ひよわさけたろう）”

35さい、つま、子どもの3人かぞく。つまのしりにしかれるきよわな男。日ごろから、かじをぜんぶまかされ、たのしみは月をみながらおさけをのむこと（つまにかわれて）。せんたくしながらかんがえるのは、だいすきなつまのことだけど、うわきをうたがわれています。





はじめのものがたり

トリは 金いろにきらめく つばさをひろげ、
ゆったりと 空をまっていました。
はるか下に 見えるのは、おさむらいさんが いた じだいの 堺（さかい）の町。
目じるしのように 大きな古墳（こふん）が よこたわっています。
そのおかは とおいむかしの帝（みかど）のおはかだと、
とうじの人々は つたえきいていますが、
まると だいけいを くみあわせた かぎあなのような かたちをしていることは、
まだ しられていません。

だれも古墳（こふん）を 上から 見たことが ないのです。
ひこうきも こうそうビルも なかったじだい。
もちろん テレビやスマホどころか、ラジオも でんわも まだ生まれていません。

きせつは なつのおわり。きょうは 年にいちどの「すみよしさんの さいれい」の日。
きたの 住吉大社（すみよしたいしゃ）を出た ぎょうれつが、
みなみにある 堺（さかい）の町へやってきました。
きびしい なつをのりこえ、この先の 一年も
かぞくが ぶじに すごせることを いのって、
いろとりどりの しょうぞくを まとった 町人たちが ねりあるいています。
せんとうでは、すみよしさんの おつかいのウサギが、
はねながら みちあんないを していることでしょう。

トリには、ふしぎな力が ありました。
にんげんが あたまの中で かんがえていることが、
こえに出した ことばのように きこえるのです。
なん千年ものときを たびしている あいだに、
いつのまにか みについた 力でした。



しけのしけお ものがたり



「あーあ。このままりっぱな“さむらいだいしょう”になって、とのさままで のぼりつめたいものだな」
そんなことを かんがえながら ねりあるいているのは、志家野志家男（しけのしけお）です。
年は25になったところ。まだひとりもので、おやのすねを かじっています。

とのさまになりたい などと言いながら、なんの どりょくも していません。
けっこんしたい 気もちは ありますが、およめさんを さがすのは めんどです。
そんな志家男（しけお）ですが、とおりがかった 糸やの かんばんむすめに、
「おはようさん」と こえを かけました。
きょうは ぶしょうのかっこうをしているので、ちょっぴり 気が大きくなったのです。

けれども、志家男（しけお）は どうしようもない いくじなしでした。
のら犬に びっくりして おおごえを出したために、
りっぱな しょうぞくの すそが 犬にかみつかれ、ちぎれてしまいました。

「これって とのさまに おかりしている たいせつな しょうぞくと ちゃうんやろか。どないしょ」
と 志家男（しけお）は あおざめました。そのいっぽうで、
「さいれいの れつに とびかかってきた のら犬を おいはらおうとして
しょうぞくが やぶれた、いうことにしたら どうやろ。
とのさまに 気に入られて、おしろで はたらかせて もらえんやろか」
と、ずるいかんがえも あたまに うかぶのでした。

「ついでに とのさまの むすめが よめさんになってくれたら、
一生ラクできるなあ」
そんなことばかり かんがえている なさけない わかものです。



つるつるお ものがたり



「ああ、うどんくいたいなあ。
ながいぎょうれつよりもながいうどん。
うどんうどん、うどんくいたい」
あたまのなかでうどんが
うずまいている男は、弦鶴男（つるつるお）です。
ごきんじょさんからは「つるつるさん」とよばれています。

歳（とし）は170さいといううわさです。ほんとうは70さいですが、
「うどんをたべるとなが生きするらしいで」
「つるつるさん見てみ。おはだつるつるやん」
と、うわさばなしにおひれがついたのです。
子どもは129人いるといううわさです。
ほんとうは、子どもは9人で、まごが40人、ひまごが80人、
ぜんぶあわせて129人なのですが、これまたうわさばなしにおひれがついたのです。



「このあと、なにうどんたべよかな。にくうどんにしようか。ひやしうどんがええな。
すだちをきゅっとしぼって、つるつるっとたべよか」
うどんのことをかんがえていると、足どりがかかるくなり、
つるつるさんはずんずんすすんでいきました。

そのうしろすがたをみて、
「つるつるさん、げん気やわあ」
「あの人、もう200さいらしいで」
「子どもも200人おるらしいで」
つるつるさんのなが生きでんせつは、うどんのようにながくながくのびていきます。

ちよっぱー ものがたり



「あさおきて、蝦夷（えぞ）から 堺（さかい）まで あるいてきたので、はらがへった。
にんげんを くいいたいな～。どのにんげんを かうとしようか」
そんな ぶっそうな こえが きこえてきました。
まさか、すみよしさんの さいれいに ひとくい男が まぎれこんでいたとは……。
しかし、かぶとに かこまれた かおに トリが目をこらすと、
かわらばんという よみものを かいている 著津波亜（ちよっぱー）でした。
「ああよかった、おはなしに 出てくる ひとくい男の ころのこえ だったのか」
と、トリは ほっとしました。

「どのにんげんが うまそうかな。男のほうか たべごたえが ありそうだな。
よし、あの男を かってやろう」
すっかり ひとくい男に なりきっている 著津波亜（ちよっぱー）は、ひなわじゅうを かまえました。
あの男とは、先ほど 著津波亜（ちよっぱー）を おいこしていった つるつるさんです。
つるつるさん でんせつの ききです。なんとかしなくては……。
あせったトリは、「こうなったら しかたがない」と かくごを きめました。

ぼちゃん。
著津波亜（ちよっぱー）の あたまの上になまあたかくて
やわらかい なにかが おちました。
「わ、なんやなんや。うっわー。トリのふんやー」
トリの おとしもので 著津波亜（ちよっぱー）は
げんじつに ひきもどされました。
こうして、つるつるさんと つるつるさん でんせつは
びじまもられたのでした。



ピリオド・マネー・ドル・ユーロ ものがたり



ぎょうれつの中から、いらだった女の ころのこえが きこえました。
「なにもかもが おもいどおりにいかない。むすめは いうことをきかないし、
むすめの べんぴは なおらないし、わたしのひまんも なおらない。
こんなに 歩かされて、であいもないし、やせないし、
1ドルも もらえないなんて、くたびれぞんだ」
かのじょの名は ピリオド・マネー・ドル・ユーロ。
たいそう ふうがわりな 名まえですが、かんがえていることも かわっています。
「ああ、くろげわぎゅうの サーロインステーキを たべたい。400グラムだって、ペろりと たいらげられる」
サーロインステーキということばを
堺（さかい）の 町人たちに しられるようになるのは、ずっと あとのじだいです。
もしかしたら、かのじょにも、ときを たびする力が あるのかもしれない。



「アカガミがなんだ。ミカドに こうぎしてやる。
せんそうなんかにいったら、
サーロインステーキが たべられなくなるじゃないか」
アカガミというのは、なん百年もあとの せかいたいせんちゅうに
せんちへ おくり出されることになった 男の人に とどけられた
あの赤がみのことでしょうか。
けれど、ピリオド・マネー・ドル・ユーロは女です。

かのじょが ぶんぶんとおこっているのが、
いつの じだいの どのくのにの せんそうのことなのかは わかりません。
でも、いつのじだいでも、どこにいても、
すきなものを おなかいっぱい たべられるのが、
へいわってことなのだなあと トリは おもいました。

おい ものがたり



「どんな きものが ええやろか」

さいれいを けんぶつしながら おもいなやんでいるのは、ちかくの たんものやではたらいている お育（いく）です。

お育（いく）の かんがえる えがらは、おみせでも たいそうな ひょうばんでした。

とおりすぎる ぎょうれつを ねっしんな まなざしで 見つめているのは、しごとの ためでしょうか。

いいえ、べつなりゆうが あるのです。

おまつりに きていく きものを たんものやの おかみさんに かりたとき、

お育（いく）は、おかみさんに こういわれたのです。

「お優美（ゆみ）ちゃんに きれいなおベベ こしらえたり。たんものだいと したてだいは、うちからの おいわいや」

お育（いく）の むすめのお優美（ゆみ）は、10さいになったばかり。

お育（いく）が たんものやへ はたらきに出ているあいだ、しょくじをつくったり、そうじをしたり、いもうとや おとうとの めんどうを見たり、はたらきもので ころよさしい 女の子です。

「あのいろは すきやけど、子どもには はでやなあ」

「あのがらは、お優美（ゆみ）には にあわんかなあ」

いつもは どんどん えがらが おもいつくというのに、なかなか かんがえが まとまりません。

お優美（ゆみ）は、えを かくのが だいすきです。

「どうやったら、おかあさんみたいに かけるようになるん？」と

お優美（ゆみ）にきかれると、

「まいにち かいていたら、どんどん じょうずになるんや」と お育（いく）はこたえます。

そういえばと、お育（いく）は おもいだしました。

「わたしも 大きくなったら、おベベの えがら かんがえる人になりたい」

と、お優美（ゆみ）が いったことが あったのです。

「そうや。お優美（ゆみ）に かかせたろ」

お育（いく）は、早くお優美（ゆみ）につたえたくて、いそぎ足で いえへ むかいました。

おかみさんに かりた じょうとうな きものの すそが はだけないように 気をつけながら。



ごえもん ものがたり



「あーあ。いえに かえりたくないなあ。どこで じかん つぶそか」
うかないかおをしている男は 五右衛門（ごえもん）といいます。
あさ、いえを 出るとき、子どもたちは おとうさんに あそんでほしくて、
「おとうちゃん いかんとして」と 五右衛門（ごえもん）の
きもの のそでをつかんで ひきとめました。

「年にいちどの だいじな すみよしさんの さいれいなんや」と
五右衛門（ごえもん）が ふりはらうと、
「おとうちゃん、おさけ のみただけやろ」と
ちょうなんの たろうが いいました。

「アホなこといいなや。すみよしさんの バチがあたるで」
五右衛門（ごえもん）は おもわず たろうをつきとばしました。
「おとうちゃんのアホ。おとうちゃんなんか きらいや」
たろうが なき、おとうとの じろうと さぶろうも
「おとうちゃんなんか きらいや、きらいや」と わめきました。



たしかに、五右衛門（ごえもん）は さいれいの あとにのむ おさけが たのしみだったのです。
けれど、五右衛門（ごえもん）は ことしの ぎょうれつには くわりませんでした。
こんな うかないかおで ねりあるいたら、すみよしさんの バチが あたりそうな 気がしたのでした。
そのかわり じんじゃに立ちよって、かぞくのぶじと あんぜんをねがう おまもりをかいました。

すこし気もちが かるくなった 五右衛門（ごえもん）は、だいすきな おさけをのみました。
ところが、おさけをのむと、また あさのことが いまいましく おもい出されて、
「アホたれ。おれは こんなに かぞくのことを かんがえたってのに、あいつら、なーんもわかってへん。
だいたい、にょうぼうが あいつらを あまやかすからや」

おや、せっかくなかった おまもりが、足もとに おちてしまっています。

ひよわさけたろう ものがたり



「なんでわかってくれへんのやろ」

しんじゃにおさめるコイをたらいであらいながら、くらいかおをしている男は、日世輪酒太郎（ひよわさけたろう）。

ひよわで気がよわく、さけの力をかりなければいいたいこともいえません。

しようぼうのおくまは、酒太郎（さけたろう）よりもからだが大きく、こえも大きく、クマがおそいかかってきたらすでにたおしてしまいそうなつよい女です。



おくまがじなりのようないびきをかいてねむるそばで、月を見上げてさけをのむじかんが、酒太郎（さけたろう）はしあわせでした。ところが、さくばんのこと。

いつものように酒太郎（さけたろう）が一人（ひとり）でさけをのみはじめると、おくまがとつぜんがばっとおきて、酒太郎（さけたろう）をせおいなげしました。

「あんた、うわ気してるやろっ」「うわ気なんか、してへん」

「うそや。わかい女とこっそりあってたやろっ」

すごみのあるおくまの大ごえにしょうじのかみがふるえ、酒太郎（さけたろう）もふるえ上がりました。

「うわ気なんか……そんなこわいことできるわけないやろ」

たたみにうちつけたいたみがのこるうでをうごかしながら、酒太郎（さけたろう）はコイをあらいます。

「わかい女なんかしらん。いいがかりもええとこや。しようぼうにないしょなんか……」

ふと酒太郎（さけたろう）は手をとめました。

「もしかしたら……」しんじゃにおさめるコイをさばいたときに出るほねやないぞうなどの「あら」をとくべつにもちかえってもいいと巫女（みこ）さんが酒太郎（さけたろう）につたえにきたことがありました。

それをたまたまおくまが見ていたのではないだろうか……。

「なんや、それやったら、コイの「あら」をおくまに見せたったら、すむはなしや」

そうおもって、酒太郎（さけたろう）はほっとしたかおになりました。

「それにしても、おくまのやつ、おれをなげとばすほどやきもちやいとったとはなあ」

酒太郎（さけたろう）はにやにやしなながらコイをあらいました。



まだまだ きいてみたい 気もちは ありますが、
体力（たいりょく）をつかいきってしまうまえに、ねどこへ かえたほうが よさそうです。
トリは なん百年も かなたの 堺（さかい）の町を めざして、金いろの はねを はばたかせました。
たてものが 空へ むかってのび、ほそうされた みちを じどう車が ゆきかうのが 見えてきました。

とおい むかしの 帝（みかど）が ねむるといわれる 古墳（こふん）には、
あたらしい 木々が うえられ、うつくしい 森が かたちづくられています。
そこは たんものやの お育（いく）や、さけのみの 五右衛門（ごえもん）の
まごの まごの まごたちがくらす、いまの 堺（さかい）の町です。

ひよわな 酒太郎（さけたろう）と つよい おくまふうふの まごたちも くらしています。
うどんを たべて なが生きの つるつるさんの まごたちは なん人になったのでしょうか。
めんどうくさがりやの 志家男（しけお）が けっこん できたか どうかは わかりません。
ピリオド・マネー・ドル・ユーロが せんそうへ いかずに すんだのかは わかりません。
著津波亜（ちょっばー）のかいた 人くい男の かわらばんが ひょうばんになったのかどうかは わかりません。

けれど、トリが 見てきた さいれいの日と いまは、たしかに つながっています。
あの日から まい日がつながって 1年になり、100年になり、21世紀の いまがあります。



おわりのものがたり

そして、「すみよしさんの さいれい」は いまも うけつがれています。
むかしとは いくぶん すがたを かえています。この先 一年も
かぞくが ぶじに すごせるようにと いのる 人々の 気もちは かわりません。
これからも、いつの じだいも、かわらないことでしょう。

たてかえが はじまった 堺市民会館（さかいしみんかいかん）が 見えてきました。
そのまえを はしる 大どおりは、フェニックスどおりです。
70年まえの せかいたいせんで 堺（さかい）の 町は 大ぶぶんが やけてしまいました。
たくさんの 人が かぞくを うしない、いえを うしない、きぼうを うしないました。
そのご、町の ふっこうを ねがって、「不死鳥（ふしちょう）」を いみする
フェニックスの 木が 町の 中心に うえられたのでした。
その木の 一本に トリは しずかに すいこまれていきました。



かわり



さかいしりつ
堺市立

しょうがっこう
小学校



平成 28 年 3 月発行